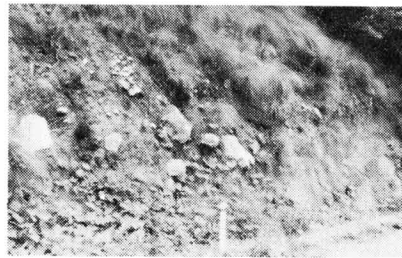


五十沢小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

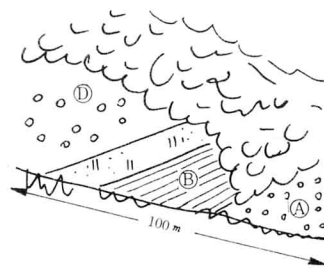
幹線農道青ヶ作線で学校から1 Km
の道路沿いのがけ



(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① 自動車に注意し、地層の全体が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② 地層の傾き、地層の重なり、厚さ、葉理の発達している地層、レキの形など気付いたことを書き入れる。



③ 道路沿いの山は、やや角ばったレキがつもっているA層や、葉理が発達しているB層や淡灰色のC層、1 mを越える大きな角ばったレキを含むD層が、一定方向に傾きながら重なってできていることを理解する。

④ 道路にそって、地層を追ってみる。地層は水平方向に広がりをもってつもっていることを理解する。

(3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

A層は5 m以上の厚さのレキ層で水分を含み濡れています。レキはやや角ばっており、レキの多くは10~50 cm大です。レキとレキのすきまは砂がうめています。

B層は5 mの厚さで、葉理が発達している粘土が固結してできた頁岩層です。

C層は淡灰色をした地層で厚さは2 mほどで、砂と火山灰が混じって海底に